

## 平成30年度共同利用研究・研究成果報告書

研究課題名 和文：宇宙素粒子若手の会 2018年秋の研究会（基礎部門）

英文：YMAP symposium 2018（Basic Part）

研究代表者 塚 隆志

参加研究者 石崎 渉、岡田 健、加藤 勢、中野 佑樹（以上、東大宇宙線研）、水越 慧太（大阪大）、萩尾 彰一、藤原 亮太（大阪市立大）、小原 脩平、高田 淳史（京都大）、伊藤 博士、中村 輝石（以上、神戸大）、上坂 優一（埼玉大）、上濱 孝文、曾根 直宙、中村 雄也（以上、信州大）、桐木 彩由美（千葉大）、大橋 健、小宮山 将広、中村 裕樹、中村 悠哉（以上、名古屋大）

### 研究成果概要

第3回宇宙素粒子若手の会秋の研究会は2018年10月4日～6日に東京大学柏キャンパスで開催された。本研究会は若手研究者と宇宙線分野全体にわたる様々な研究について議論し、交流を深める機会として、学生・若手研究者によって組織される宇宙素粒子若手の会が主催して開催した。



招待講師2名を含む参加者は20名で、全員が口頭発表を行った。参加者全員によるプレナリートークという形式をとったことで、参加者同士のことをよく知ることができ、交流を深めることができた。また、他分野の人にも各トークをわかりやすく聞いてもらい、より活発に議論するため、セッションをガンマ線、地下実験、宇宙線、素粒子、ニュートリノの5つの分野に分け、各セッションの冒頭ではシニア学生やポスドクがその分野についての概要を紹介するナビゲータートークを設置した。このナビゲータートークの設置も好評であり、様々な分野の人との議論・交流が深まった。発表スライドはホームページ（<http://www.icrr.u-tokyo.ac.jp/YMAP/event/conf2018/program.html>）にて公開中である。参加者の多くから来年度も参加したいという意見も得られており、今後も継続して開催していきたいと考えている。

整理番号 E44